

整備効果④ 関西文化学術研究都市の活性化

・高速道路の整備により、**関西文化学術研究都市への研究機関や企業の進出が進んでいます。**

・城陽～八幡京田辺間の開通により学研都市のアクセス向上が図られ、通勤通学が便利になるほか、**京都駅と直結する高速バス路線の経路としての活用も期待されます。**

開発地区への企業進出に貢献



関西文化学術研究都市

京都・大阪・奈良の3府県にまたがる京阪奈丘陵において、国際的、学際的、業際的な文化・学術・研究の新たな展開の拠点づくりを目指す国家プロジェクトとして都市建設が進められている。

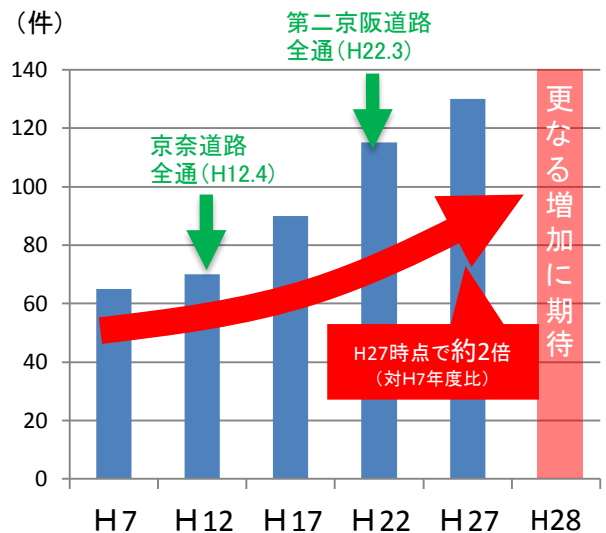


<立地施設一例>

・(株)国際電気通信基礎技術研修所(ATR) 出典: 関西文化学術研究都市HP
・国立国会図書館 関西館

【 関西文化学術研究都市の施設立地の推移 】

高速道路整備が進むにつれ増加



出典: 関西文化学術研究都市推進機構提供データ

バス事業者の企業活動を支援

時間短縮の費用対効果も高く、城陽～八幡京田辺の開通を機に、京都駅と関西文化学術研究都市を直通する路線バスの運行経路としての活用を検討予定です。



出典: 企業ヒアリング (バス運行会社)

【 現在の路線バス概要 】

- ・京都府による実証実験での運行
- ・運行事業者 京阪バス(株)・奈良交通(株)
- ・運行区間 京都駅 ⇄ けいはんな学研都市地域
- ・便数 1日4往復(平日のみ運行)
- ・経路 第二京阪八幡東IC～京奈道路田辺北IC間は一般道を経由

※ 実証運行は平成29年9月30日迄の予定



関西文化学術研究都市
(けいはんな学研都市)